

「神戸市総合インフォメーションセンター」の建築デザインについて

ARCHITECTURE DESIGN OF " KOBE CITY GENERAL INFORMATION CENTER"

.....  
久富 敏明 デザイン教育研究センター 准教授

Toshiaki HISATOMI Center for Design Studies, Associate Professor  
.....

要旨

2011年2月、「神戸市総合インフォメーションセンター改修工事設計業務」簡易プロポーザルの5社が指名された。調査表の提出、ヒアリングを経て久富敏明建築設計事務所が委託先として選定された。

本稿は「神戸市総合インフォメーションセンター」の建築デザインについての解説である。

Summary

In February, 2011, five companies were appointed for the simple proposal of " Kobe City General Information Center repair work design duties".

Through the presentation of the questionnaire, hearing, and Toshiaki Hisatomi Architects was chosen as trust.

This report is a commentary about the building design of " Kobe City General Information Center"



図1) 外観 完成写真 右奥がJR三ノ宮駅東口改札、左手前側がJR三ノ宮駅東口ロータリー、上階にはポータライナー三宮駅がある

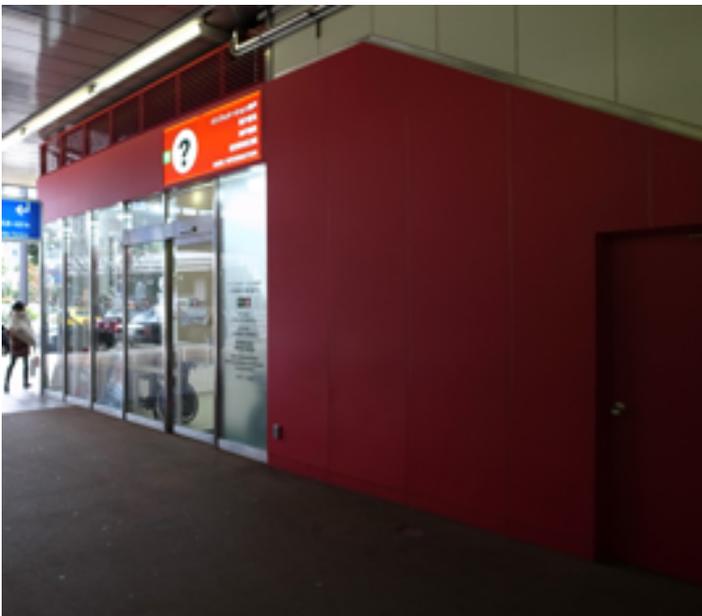


図2) 外観 完成写真 東面



図3) JR三ノ宮駅東口ロータリーのタクシー乗り場から見る

## 1 はじめに

2011年2月25日、「神戸市総合インフォメーションセンター改修工事設計業務」簡易プロポーザルの5社に指名された。その後、説明会、調査表の提出、ヒアリングを経て久富敏明建築設計事務所が業務委託先として選定された。

説明会では、JR三ノ宮駅西口にある既存施設の床面積が30㎡で手狭になっており、移転することによって76㎡になることと本計画における4つの事業コンセプトが

示された。

- ・市の観光案内・市政案内機能と情報発信の強化。
- ・視認しやすく入りやすい施設とする。
- ・デザイン都市神戸にふさわしいデザインとする。
- ・様々な人々が利用しやすい施設とする。

これらのコンセプトの実現を目指して建築デザインの検討を重ね、同年12月に完成<sup>\*1)</sup>、開館した(図1,2,3,4,5,6)。

## 2 現地調査



図4) 内観 完成写真 大型のポスターは左奥のフレームと赤い壁に限定されている



図5) A4リーフレット掲示 鉄製の壁に磁石で掲示



図6) キャスター付きA4リーフレットラックのデザイン

計画建物とその周辺状況について現地調査を行った。神戸市の玄関口である JR 三ノ宮駅東口ロータリーに面する計画地は日中の人通りが途絶えることの無い利便性の高い場所である。一方で、JR 三ノ宮駅西口と比較すると少なからず暗いイメージであることが確認された(図7,8,9)。

既存建物は長距離バスの発券所として建設された。後に近隣ビルに転居した以降はコインロッカーの集積所として使われていた。また既存建物の外壁は、ロータリー

に並ぶタクシーや隣接するバスターミナルからの排ガスの影響で埃をかぶり煤けた状態になっており、提案の素材選定において留意する必要性を確認した。

### 3 赤い建築のデザイン

4つの事業コンセプトと現地調査結果の分析をとおしてデザインのスタディを始めた。周辺環境に対する建物の視認性向上については、既存建物外壁パネルに対して素材、色を検討した。優れた建築には、素材の表現が重



図7) 既存建物 長距離バスの発券所として建設された後、コインロッカーの集積所として使われていた



図8) 既存建物 右側奥はポータルライナー三宮駅への階段



図9) 既存建物 東面 外壁が煤けて見える

要であることは言うまでも無い。例えば銅板は、時間の経過によって美しく古びることが出来る。一方で、本計画地においては既存建物のアルミパネルが排ガスなどによって煤けてしまっている。この環境においては、古びる素材を採用しても自然の雨や日射によって緩やかに変化し美しさを帯びることは期待できない。そこで、色の検討を加えることにした。北野町の異人館街を歩くといわゆる京都的な街なみとは違う、神戸らしい色に出会うことが出来るからである。

調査表(図10)では神戸の街を代表する色としての「赤」を提案した。神戸大橋、ポートタワー、そして風見鶏の館のレンガ色の赤や生田神社の朱色も加え「KOBE REDS」とタイトルを付けた。同時に景観デザインに対するコンセプトを持たなければならないと考え、環境色彩デザインの手法に対する文献調査を行った。「赤」は都市景観において「騒色」とされる場合が多いからだ。一般的に景観条例は、「けばけばしい色彩は避ける」や「周辺に調和する色彩を選ぶ」規定となっている。提案

# ●KOBE REDS

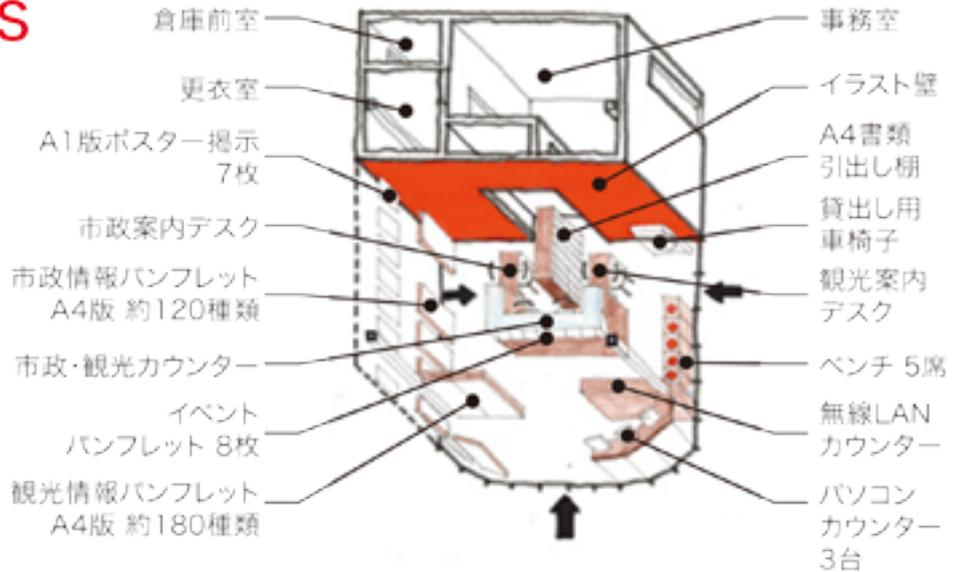


図10) 簡易プロポーザルの調査表

に「赤」を採用することを検討している時に、環境色彩計画の第一人者である吉田慎吾（武蔵野美術大学教授）による著作に出会った。そこには、「環境色彩における調和は周囲になじませることを基本とするが、地域にとって必要であれば、対比的に突出させることももちろんあり得る。しかし対比的な色彩を使う場合も、その色彩は地域住民に支持されるものでなければならない。」\*2)と書かれていた。

3月30日、審査の結果が届いた。久富敏明建築設計事

務所が業務委託先として選ばれた。評価された点として、「本物件の課題である、三宮駅側からの利用者誘導に関する提案が、実現可能性が高く、かつ効果的なものであった。また、室内のゾーニングも、観光案内と市政案内をコンパクトに区分した明快なものであり、良好な設計の成果が期待できる」と記載されていた。

#### 4 基本設計から実施設計へ

設計契約など事務手続きが完了し4月27日に第1回の



図 11) 赤を強調する案 内部天井も赤になっている



図 12) 景観アドバイザー部会ヒアリング時の案



図 13) 赤の外壁面を縮小する案



図 14) 景観アドバイザー専門部会への回答案

設計打合せが開催された。その後 5 ヶ月に渡って毎回 10 名を超える神戸市役所の関係する部局や運営する協会の担当者との週間定例打合せを持った。各担当者や建物所有者との打合せ、また学識経験者等の専門

家で構成される神戸市の景観アドバイザー専門部会におけるヒアリングと意見\*3において「赤い建築」は議論の的となった。その都度、検討資料を作成し「赤い建築」であることの意義を訴えた(図 11,12,13,14)。

## 5 まとめ

多くの関係者や専門家との意見交換を経て「赤い建築」が完成した。最終案は色彩景観に配慮した彩度の低い赤とした。また、赤い外壁の範囲を縮小することと合わせてデザイン性の高いサイン計画を提案した(図 15,16,17)。



図 15) サイン計画 赤地に?マーク 計画建物を JR 三ノ宮駅東口改札側から見る。写真右側はポータルライナー三宮駅へ上がる階段



図 16) 建物正面の電飾 LED パネルサイン



図 17) JR 三ノ宮駅からの誘導サイン

完成した後、現在においても「赤い建築」がこの計画として正しいのかという議論は宙吊りのままである。設計段階における反対意見のほとんどは「赤い建築は景観を壊す」に終始した。一方で「赤い建築」を受入れた意見の根底で共有された考え方は、この建築を都市の中での「特別な建築」として位置づけることであった様に感じている。「特別な建築」であることによって「赤い建築」は、都市景観を「地」と捉えた上で「図」として受容されることが可能となる。本計画では実現されなかったが、今後の公共建築デザインは市民の意見を反映するプロセスを計画する必要性が高まるであろう。その時、私たち建築家やデザイナーは自らの作家性を超えて、計画の本質を的確に捉えた明快な提案を市民へ説明することが求められる。また、景観に対する市民の意識を高めるために景観アドバイザー専門部会のヒアリングを公開する事も有効な試みかもしれない。これからの公共建築は、時間と労力は増えるが市民との合意形成のプロセスを経て、その場所にしかない特別な建築としてデザインされることが期待される。

註

- 1) 建築設計：久富敏明建築設計事務所＋神戸市都市計画総局建築技術部建築課、設備設計：阪田設備事務所
- 2) 吉田慎吾著、『まちの色をつくる-環境色彩デザインの手法』、建築資料研究社、1998年、P.194

3) 神戸市の景観アドバイザー専門部会における意見については、神戸市 第69回景観審議会 景観アドバイザー専門部会報告（下記 URL）に公開されている。

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/committee/urban/scene/69siryou3.pdf>

最終アクセス日 2012年10月14日

図版出典

- 1) ,2) ,3) ,4) ,5) ,6) ,7) ,8) ,9) ,15) ,16) ,17) 筆者撮影
- 10) ,11) ,12) ,13) ,14) 久富敏明建築設計事務所提供